



緑肥・緑化の部屋 15

～環境保全の実践を目指して～

タキイ種苗(株) 営業部 緑化飼料課

Q 私はダイコンの肌がきれいになるということでマリーゴールドを栽培しています。確かにダイコンの表面はきれいになりましたが、逆に害虫の飛来が増えたような気がします。何かよい解決方法はないでしょうか？

A マリーゴールドには土壌中の有害なセンチュウ類や数種の害虫を抑制する効果がありますが、逆に、開花後は、花がオオタバコガなどの害虫を集めてしまうことも報告されています。そこで、タキイではいつまでも花の咲かないマリーゴールド「エバーグリーン」の使用を提案いたします。

「エバーグリーン」の特長は、以下の通りです。

- ①花が咲かないので、花を餌とするオオタバコガなどの温床になりにくい。
- ②花が咲かないので、植物体の老化が遅く、かたくなりやすい（すき込み容易）。
- ③生育が旺盛で地面をすばやく被覆するので、雑草を抑制しやすい。
- ④センチュウ抑制効果は、従来のアフリカマリーゴールドよりも高い。

■マリーゴールド「エバーグリーン」の緑肥効果

(神奈川県農業技術センター三浦半島地区事務所)

区分	栽培90日後全株重(10株・g)	栽培90日後センチュウ数(ベルマン法)(土壌50g中)	後作ダイコンネグサレセンチュウ被害株率(%)	オオタバコガ被害率(%)	雑草面積占有率(%)
エバーグリーン	1944	3	5	-	0.0
アフリカントール(慣行)	823	2	50	5.7	1.0
裸地	-	8	100	-	44.8

害虫を寄せ付けにくいマリーゴールド！

フレンチマリーゴールド エバーグリーン

〈播種期〉

4～7月

〈播種量〉

0.5kg/10a

〈注意〉

種子が細長い

ので、播種後は十分な鎮圧が必要。



9月下旬播種でも年内の出穂程度が高い、えん麦の新品種「九州14号」の現地検討会を開催

えん麦の夏まき・年内どりに適した極早生品種、「九州14号」は、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター育成のタキイ専売品種です。そこで、「九州14号」の優位性を実証するため、昨年12月9日、鹿児島県始良郡湧水町および南九州市市川辺町において現地検討会を開催しました。当日は育成者の九沖研・桂先生をはじめ、地元種苗店、鹿児島県酪連、始良伊佐地域振興局、南薩地域振興局農政普及課各位のご協力のもと、霧島周辺、

薩摩半島南部のJA担当者や、畜産農家の皆さまなど多数ご参加いただきました。

「九州14号」は耐倒伏性と冠さび病抵抗性にすぐれる極早生品種で、既存品種より出穂が早いため、9月前半の播種でも、収穫物の乾物率・穂重割合が高くなります。温暖な九州では9月下旬播種でも年内の出穂率が高く多収が見込めます。

実証圃でも比較品種に比べ出穂の差が明確に見られ、参加者の皆さんにその特性を実感していただきました。



↑→

左：従来品種、右：九州14号。9月26日まき12月9日撮影（鹿児島県南九州市市川辺町）。

